

2019年4月3日

「CONNECTED CAM™」の進化と拡大をテーマに、IP映像制作に向けた新たなソリューションを提案

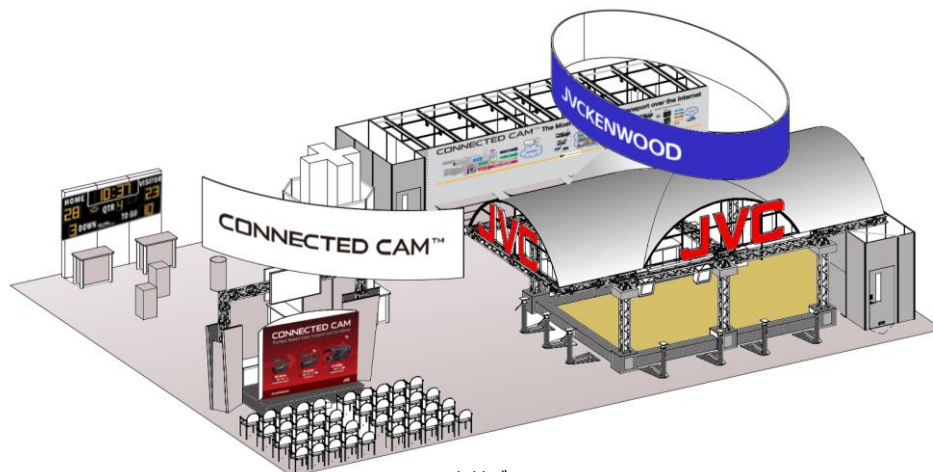
「NAB (National Association of Broadcasters) 2019」

JVCケンウッドブースのご案内

CONNECTED CAM™

株式会社 JVCケンウッドは、4月8日（月）から11日（木）まで、アメリカ・ラスベガスで開催される世界最大の放送機器展「NAB 2019」（主催：National Association of Broadcasters）に出展します。

今回当社は、高画質・高品質でつながる「CONNECTED CAM™」の進化と拡大をテーマに、カメララインアップの拡大やIP映像制作に向けた新たなソリューションを提案します。また、ライブストリーミングを高品位に配信できるIP伝送方式「SRTアライアンス」への加盟発表と、その映像配信デモンストレーションの実施に加え、スポーツ分野向けのIPライブ制作用オーバーレイアプリケーションや4K映像制作用モニターの新シリーズを展示します。



<当社ブースイメージ>

<主な展示内容> （当社ブース：セントラルホール #C4415）

1. 「CONNECTED CAM™」の進化、拡大によるソリューションを提案

近年の映像制作現場におけるインターネット環境を使ったさまざまな制作アプリケーションへの対応に向け、当社の「CONNECTED CAM™」は進化、拡大を続けています。カメララインアップの拡大をはじめ、周辺機器の拡充によりIPを軸とした映像制作にいち早く、高品位に対応するさまざまなソリューションを提案します。また、普及が期待されるIP伝送技術 SRT プロトコルへの取り組みも紹介します。

1) 1インチ4Kカメラレコーダー「GY-HC550」「GY-HC500」（6月発売予定）、およびスポーツ分野向けカメラレコーダー「GY-HC500SPC」（新商品）

機動性に優れ4K/60pの映像制作に対応した「CONNECTED CAM™」第二弾の4Kメモリーカードカメラレコーダー「GY-HC550」「GY-HC500」（2019年6月発売予定）を展示します。撮影現場とスタジオ局間の双方向のライブストリーミングに対応するなど高いIP性能を備えるとともに、4K/60pの高画質記録に「Apple ProRes 422」コーデックを標準対応するなど、高い記録性能を実現します。また、専用SSDメディアアダプター「KA-MC100」（別売）を使用することで、SSDメディアへの記録も可能です。さらに、放送分野と同様にIPによるアプリケーションへのニーズが増大するスポーツ分野に向けた新商品「GY-HC500SPC」も展示。スポーツコーチング用途に使われるタギング機能やライブ中継用のスコアオーバーレイ機能を標準装備しています。



<「GY-HC550」>

*マイク、SSDメディアは別売りです。

2) 2/3 インチ HD カメラレコーダー「GY-HC900」バージョンアップ (7 月実施予定)

「CONNECTED CAM™」第一弾の HD メモリーカードカメラレコーダー「GY-HC900」(2018 年 10 月発売) に進化した IP 機能や映像制作の幅を広げる各種機能を追加するバージョンアップ Ver3.0 (7 月実施予定) を紹介します。現在搭載している AUTO FTP を進化させ、撮影した映像をフレキシブルに FTP サーバーに転送する「Progressive AUTO FTP」機能や、映像制作業界で広く使われている「Apple ProRes 422」コーデックへの対応、またスポーツコーティング向けタギング機能などを追加します。さらに、SSD メディアアダプター「KA-MC100」(別売) にも対応し、「Apple ProRes 422」の収録だけでなく、SD カード収録と大容量の SSD メモリーへの収録を組み合わせた長時間のバックアップ記録が可能となります。



<「GY-HC900CH」>

3) IP スタジオスイッチャー「KM-IP6000」(新商品)

IP 映像制作ソリューションビジネスの拡大に向けパートナーシップの強化を目的として出資 (2018 年 12 月発表) した、スロバキアの Streamstar 社と共同開発したスタジオ制作向け IP スタジオスイッチャーの新商品「KM-IP6000」を展示します。本機は、一般インターネット環境を使用して、高品位なスタジオライブ制作を可能とする最新の IP テクノロジーを搭載。回線のパケットロスを低減する高品質でセキュア、低遅延な伝送技術や、基地局側からの映像や音声の IP リターン機能、また IP 環境でのマルチカメラ同期機能などを装備しています。「CONNECTED CAM™」カメラレコーダーとの組み合わせにより、効率的にワークフローを構築し、オペレーションコストの削減を実現するとともに、容易な IP 映像配信を可能にする新たなソリューションとして提案します。



<「KM-IP6000」>

4) IP リモートコントロールパネル「RM-LP250」(新商品)

スタジオ制作や、ライブストリーミングなどの撮影現場において、IP 制御が可能な IP リモートコントロールパネル「RM-LP250」を展示。スタジオ設備内での運用だけでなく、遠距離から複数のカメラを切り替えながら制御することが可能です。また、WEB 上のコンフィグレーション画面から本機ボタンへの機能の割り付けを使用用途に応じて自由に変更することが可能です。



<「RM-LP250」>

5) 高品位な IP 映像配信を可能にする「SRT アライアンス」への加盟と映像配信デモンストレーション (参考展示)

このたび当社は、IP ストリーミングにおいて高品質でセキュアかつ低遅延な映像と音声の配信を可能にする IP 伝送技術 SRT (Secure Reliable Transport) プロトコルを普及・推進する「SRT アライアンス」に加盟します。SRT プロトコルはカナダの Haivision 社によって開発されたオープンソースのビデオ伝送技術で、伝送機器、クラウド上に構築されたストリーミングサービス、ソフトウェア、CDN といった IP 伝送や配信などのサービスに広く採用され、これからの IP ストリーミングを高性能・高品質にする基本プロトコルとなることが期待されています。本ブースでは、「GY-HC900」を用いた SRT プロトコルによる映像配信のデモンストレーションも行います。



<SRT ロゴマーク>

2. スポーツ分野向け映像制作用 CG アプリケーション「Live Sports CG for JVC」(新商品)

スポーツ分野向け映像制作用にスコアオーバーレイ機能を搭載したカメラレコーダー「GY-HM250SP」や「GY-HC500SPC」などと組み合わせ、ライブ映像にオーバーレイするチームロゴなどのグラフィックを自由に制作できる CG アプリケーション「Live Sports CG for JVC」を展示します。本アプリケーションを使い、あらかじめ複数のチームロゴを制作し、カメラレコーダーに保存しておくことで、撮影現場でチーム別のロゴグラフィックを簡単に切り替えることが可能です。



<「GY-HM250SP」> <「Live Sports CG for JVC」>



<スポーツスコアオーバーレイイメージ>

3. 4K 映像制作用モニター「DT-U シリーズ」(新商品)

4K モニターをラインアップする映像制作用モニターの新商品「DT-U シリーズ」の 2 モデルを展示します。いずれも、14 ビットカラー処理が可能な 10 ビットパネルを搭載し、HD-SDI×4 入力を装備。「DT-U31」は UHD (3840×2160) 解像度をサポートし、「DT-U31PRO」は DCI 4K (4096×2160) ネイティブ解像度をサポートします。



<「DT-U シリーズ」イメージ>

■ 「NAB 2019」の概要

1. 会 期 : 2019 年 4 月 8 日 (月) ~ 11 日 (木) ※商品展示期間 (現地時間)
2. 会 場 : ラスベガスコンベンションセンター (米国ネバダ州ラスベガス市)
3. 主 催 : National Association of Broadcasters
4. 公式 URL : <https://www.nabshow.com/>

<商標について>

- ・「CONNECTED CAM™」は株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。
- ・記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL: 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 丁目 12 番地

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com